

福岡県観光の現状と課題



2018年7月13日

福岡県商工部観光局観光政策課

目次

1 福岡県観光振興指針について

2 福岡県観光の現状と課題

- (1) 本県への入国外国人数の状況
- (2) 延べ宿泊者数の状況
- (3) 観光消費額の状況
- (4) 観光客のニーズ
- (5) 観光客受入施設等の意見
- (6) 更なる観光客増加に向けた県内の動向
- (7) 国際会議の開催状況

3 福岡県の現在の取組みと財政状況

- (1) 観光指針に基づく現状の取組み
- (2) 本県の財政状況

4 福岡県観光の現状と課題 まとめ

1 福岡県観光指針について ①

福岡県観光振興指針

- 人口減少、少子高齢化が進む中、地方創生の観点から、観光を重要な産業と位置付け、地域の観光資源の魅力向上と心温まるおもてなしで、観光客の満足度を高め、地域に消費と雇用を生み出すことが重要。
- このため、県を挙げた観光振興の取組みを強力に進めることを目的に本指針を策定。（H29.7策定）
- 本指針では、本県の観光振興の基本的考え方と施策の方向性や数値目標を定めている。

主な数値目標

	2016年実績	2019年目標	(参考) 2017年実績
外国人入国者数	260万人	414万人	319万人
県内延べ宿泊数	1,612万人泊	1,984万人泊	1,806万人泊
（うち外国人）	267万人泊	588万人泊	319万人泊
観光消費額	9,620億円	12,407億円	10,627億円

1 福岡県観光指針について ②

観光振興の基本的考え方

① 観光資源の魅力向上

(体験・交流型観光資源の開発と
ブランド力の強化)

② 受入環境の充実

(全ての観光客が安全に安心して
県内観光を楽しめる環境の整備)

③ 効果的な情報発信

(旅行ニーズやデータ分析に基づく
プロモーション活動の展開)

④ 観光振興の体制強化

(観光人材の育成と観光推進体制の整備)

施策の方向性

- ① 歴史を活かした観光資源の発掘・磨き上げ
- ② 食の魅力を活かした観光の推進
- ③ 文化・スポーツの集積を活かした観光の推進
- ④ 産業観光の推進
- ⑤ 体験・交流・滞在型観光の推進

- ⑥ 観光案内の充実
- ⑦ 多言語対応等の充実
- ⑧ 移動しやすい交通基盤の整備
- ⑨ 観光客の安全・安心対策

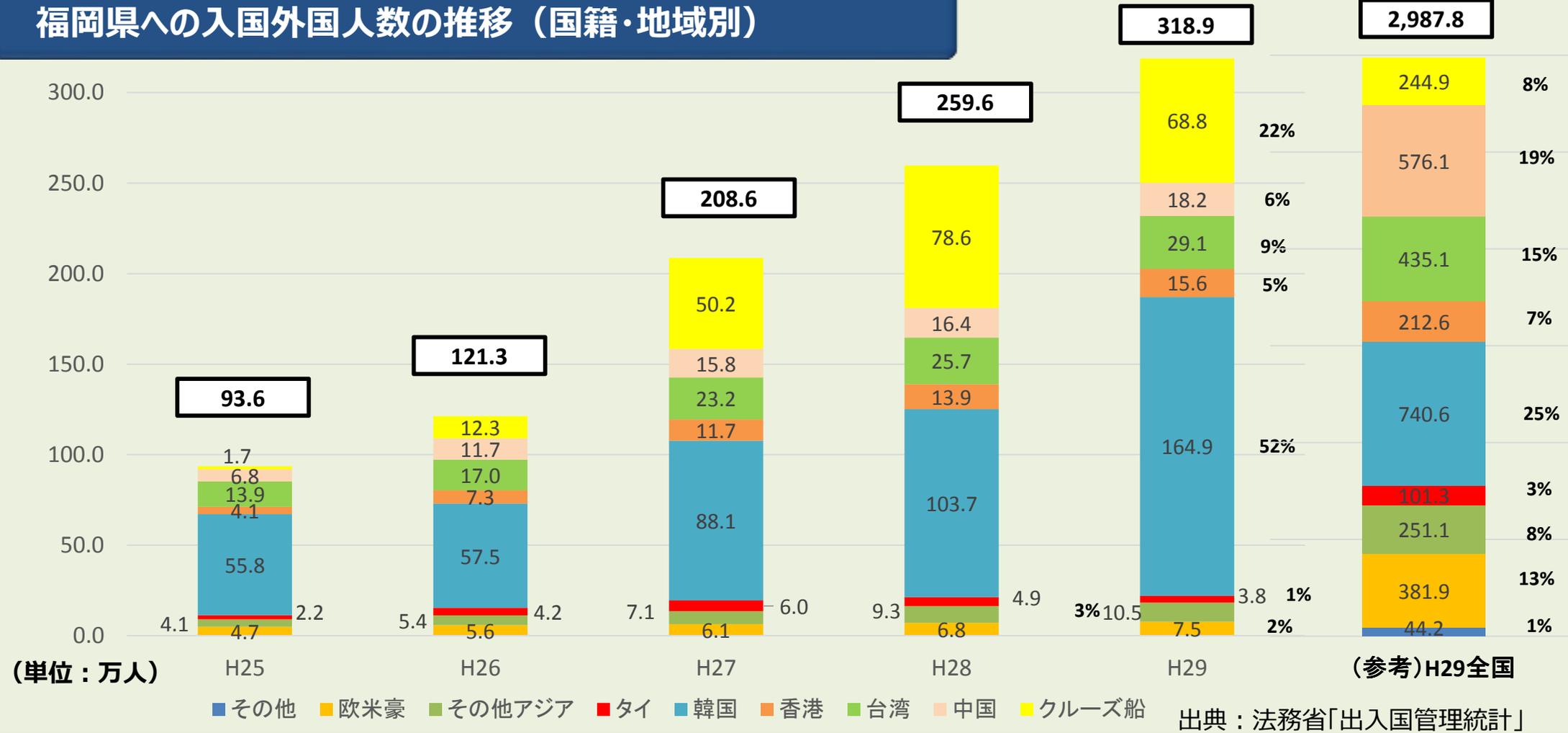
- ⑩ 国や地域毎の旅行者のニーズをとらえたプロモーション活動
- ⑪ 海外進出企業、飲食業等との連携によるPRの強化
- ⑫ ゴールデンルートからの誘客拡大
- ⑬ 広域連携による誘客の推進

- ⑭ 統計情報の収集・分析によるマーケティング
- ⑮ 専門的な人材の育成
- ⑯ 新たな観光ビジネスの創出

2 福岡県観光の現状と課題 (1) 本県への入国外国人数の状況

- 平成29年の本県への入国外国人数（クルーズ船客を含む）は、約319万人で前年比約2割増。
- 国籍・地域別割合を見ると、韓国の割合が高い。（福岡：52%、全国：25%）一方、欧米豪、（福岡:2%、全国:13%）、中国（福岡:6%、全国:19%）、台湾（福岡:9%、全国:15%）は割合が低い。
- クルーズ船客数は著しく増加（H25-29年 約40.5倍）し、68.8万人（福岡:22%、全国:8%）で、主な国籍は中国である。（（参考）H29外国船社クルーズ船寄港数：339隻）

福岡県への入国外国人数の推移（国籍・地域別）



2 福岡県観光の現状と課題 (2) 延べ宿泊者数の状況①

- 本県の延べ宿泊者数は、平成29年に1,800万人を突破し、全国10位。前年比9.6%増で、伸び率は上位10都道府県でトップ。
- 25年から29年にかけて約400万人増、約1.3倍。

延べ宿泊者数の推移・全国比較 (総数)

(単位：人泊)

	平成25年	平成26年	対前年 伸び率	平成27年	対前年 伸び率	平成28年	対前年 伸び率	平成29年 (速報値)	対前年 伸び率	H25→H29 伸び率
全国	465,893,370	473,501,950	101.6%	504,078,370	106.5%	492,485,160	97.7%	498,191,140	101.2%	106.9%
東京都	52,824,060	54,258,780	102.7%	59,087,920	108.9%	57,514,950	97.3%	58,105,320	101.0%	110.0%
北海道	30,970,470	30,979,070	100.0%	32,591,070	105.2%	33,554,500	103.0%	34,680,010	103.4%	112.0%
大阪府	23,881,430	28,369,250	118.8%	30,366,080	107.0%	31,010,470	102.1%	32,698,270	105.4%	136.9%
千葉県	20,398,580	21,201,240	103.9%	22,573,510	106.5%	21,880,880	96.9%	22,989,440	105.1%	112.7%
沖縄県	20,789,590	20,142,060	96.9%	20,063,730	99.6%	20,626,690	102.8%	21,095,340	102.3%	101.5%
静岡県	20,923,330	21,022,570	100.5%	22,530,110	107.2%	21,237,660	94.3%	20,630,110	97.1%	98.6%
神奈川県	16,840,830	19,200,770	114.0%	19,065,960	99.3%	18,746,090	98.3%	19,122,300	102.0%	113.5%
京都府	20,087,510	16,986,760	84.6%	18,255,030	107.5%	17,649,500	96.7%	18,491,480	104.8%	92.1%
長野県	18,750,560	17,897,190	95.4%	19,213,380	107.4%	17,804,660	92.7%	18,196,370	102.2%	97.0%
福岡県	13,986,570	15,232,160	108.9%	16,143,170	106.0%	16,475,930	102.1%	18,059,680	109.6%	129.1%

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」

2 福岡県観光の現状と課題 (2) 延べ宿泊者数の状況②

- 日本人延べ宿泊者数上位10都道府県の半数が伸び悩む中、本県は微増傾向。
- 25年から29年にかけての伸び率は、上位10都道府県の中でトップ(約1.1倍)。

延べ宿泊者数の推移・全国比較 (日本人宿泊者)

(単位：人泊)

	平成25年	平成26年		平成27年		平成28年		平成29年 (速報値)		H25→H29 伸び率
			対前年 伸び率		対前年 伸び率		対前年 伸び率		対前年 伸び率	
全国	432,397,640	428,677,350	99.1%	438,463,770	102.3%	423,096,220	96.5%	420,187,570	99.3%	97.2%
東京都	42,993,110	41,063,520	95.5%	41,527,330	101.1%	39,454,990	95.0%	39,079,830	99.0%	90.9%
北海道	27,900,720	27,088,480	97.1%	26,949,930	99.5%	27,000,280	100.2%	27,246,710	100.9%	97.7%
大阪府	19,566,930	22,169,090	113.3%	21,400,410	96.5%	21,001,640	98.1%	20,991,360	100.0%	107.3%
千葉県	18,350,340	18,534,040	101.0%	19,073,140	102.9%	18,536,080	97.2%	19,462,390	105.0%	106.1%
静岡県	20,363,590	20,236,260	99.4%	20,790,490	102.7%	19,667,310	94.6%	19,155,800	97.4%	94.1%
長野県	18,207,470	17,236,710	94.7%	18,265,930	106.0%	16,669,720	91.3%	16,877,850	101.2%	92.7%
神奈川県	15,773,390	17,768,270	112.6%	16,909,640	95.2%	16,585,490	98.1%	16,859,030	101.6%	106.9%
沖縄県	19,301,840	17,753,510	92.0%	16,378,860	92.3%	16,766,900	102.4%	16,491,620	98.4%	85.4%
愛知県	13,505,670	13,905,730	103.0%	14,274,890	102.7%	14,165,600	99.2%	14,924,800	105.4%	110.5%
福岡県	13,086,530	13,874,860	106.0%	13,783,470	99.3%	13,801,820	100.1%	14,868,330	107.7%	113.6%

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」

2 福岡県観光の現状と課題 (2) 延べ宿泊者数の状況③

- 本県の外国人延べ宿泊者数は、対前年比19.3%増で300万人を突破し、全国7位。
- 25年から29年にかけての伸び率は、外国人延べ宿泊者数上位10都道府県の中でトップ（約3.5倍）。

延べ宿泊者数の推移・全国比較（外国人宿泊者）

（単位：人泊）

	平成25年	平成26年	対前年 伸び率	平成27年	対前年 伸び率	平成28年	対前年 伸び率	平成29年 (速報値)	対前年 伸び率	H25→H29 伸び率
全国	33,495,730	44,824,600	133.8%	65,614,600	146.4%	69,388,940	105.8%	78,003,570	112.4%	232.9%
東京都	9,830,950	13,195,260	134.2%	17,560,590	133.1%	18,059,960	102.8%	19,025,490	105.3%	193.5%
大阪府	4,314,500	6,200,160	143.7%	8,965,670	144.6%	10,008,830	111.6%	11,706,910	117.0%	271.3%
北海道	3,069,750	3,890,590	126.7%	5,641,140	145.0%	6,554,220	116.2%	7,433,300	113.4%	242.1%
京都府	2,625,880	3,291,010	125.3%	4,578,670	139.1%	4,602,810	100.5%	5,586,960	121.4%	212.8%
沖縄県	1,487,750	2,388,550	160.5%	3,684,870	154.3%	3,859,790	104.7%	4,603,720	119.3%	309.4%
千葉県	2,048,240	2,667,200	130.2%	3,500,370	131.2%	3,344,800	95.6%	3,527,050	105.4%	172.2%
福岡県	900,040	1,357,300	150.8%	2,359,700	173.9%	2,674,110	113.3%	3,191,350	119.3%	354.6%
愛知県	1,147,560	1,489,680	129.8%	2,347,290	157.6%	2,393,190	102.0%	2,592,970	108.3%	226.0%
神奈川県	1,067,440	1,432,500	134.2%	2,156,320	150.5%	2,160,600	100.2%	2,263,270	104.8%	212.0%
山梨県	492,230	948,880	192.8%	1,252,130	132.0%	1,371,300	109.5%	1,532,860	111.8%	311.4%

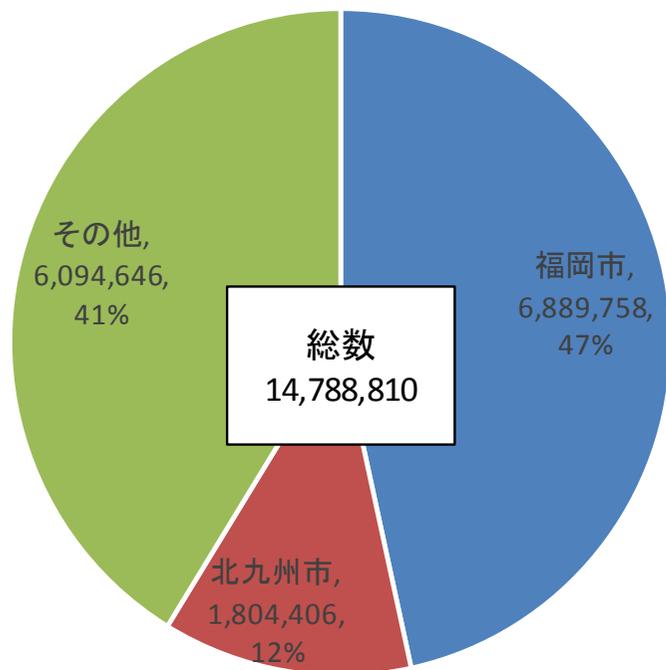
出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」

2 福岡県観光の現状と課題 (2) 延べ宿泊者数の状況④

- 本県の延べ宿泊者数（従業員10人以上の施設）を地域別にみると、福岡市47%、北九州市12%、その他41%となっている。
- 旅館業法の県内営業許可施設数調査では、客室数は福岡市と北九州市で約7割を占めている。

延べ宿泊者数の地区別割合

○県内地区別延べ宿泊者数(従業員10人以上の施設分)
 (出典:観光庁「宿泊旅行統計調査(平成29年1月~12月速報値)を集計」
 (※月速報値の集計のため、年速報値と一致しない) (単位:人泊、%)



旅館業営業許可施設等数 (平成29年3月末時点)

○旅館業営業許可施設等数(平成29年3月末時点)
 (出典:福岡県生活衛生課資料、衛生行政報告例)

		施設数	施設数割合	客室数	客室数割合
保健所設置市	北九州市	188	15.4%	9,574	18.8%
	福岡市	340	27.8%	27,129	53.2%
	久留米市	89	7.3%	2,546	5.0%
	大牟田市	26	2.1%	446	0.9%
県保健福祉環境事務所	筑紫(太宰府市など)	37	3.0%	836	1.6%
	粕屋(古賀市など)	43	3.5%	900	1.8%
	糸島(糸島市)	43	3.5%	600	1.2%
	宗像・遠賀(宗像市など)	82	6.7%	1,637	3.2%
	嘉穂・鞍手(飯塚市など)	85	7.0%	1,733	3.4%
	田川(田川市など)	37	3.0%	478	0.9%
	北筑後(朝倉市など)	103	8.4%	2,148	4.2%
	南筑後(柳川市など)	84	6.9%	1,592	3.1%
	京築(行橋市など)	64	5.2%	1,332	2.6%
計		1,221	100.0%	50,951	100.0%

※施設数はホテル、旅館、簡易宿所の数を集計。客室数は旅館、ホテルの数を集計している。

出典:福岡県保健医療介護部生活衛生課資料及び衛生行政報告例をもとに事務局作成

2 福岡県観光の現状と課題 (2) 延べ宿泊者数の状況⑤

- 県内14箇所の観光地で行ったアンケート調査によれば、福岡市宿泊者の64.7%が、福岡市以外の太宰府天満宮、柳川川下り、北九州市等を周遊している。
- 北九州市宿泊者の46.3%が旧伊藤伝右衛門邸、宗像大社、福岡市等を周遊している。

福岡市、北九州市宿泊者の周遊状況

(単位：件、%)

アンケート回答数	3,528
----------	-------

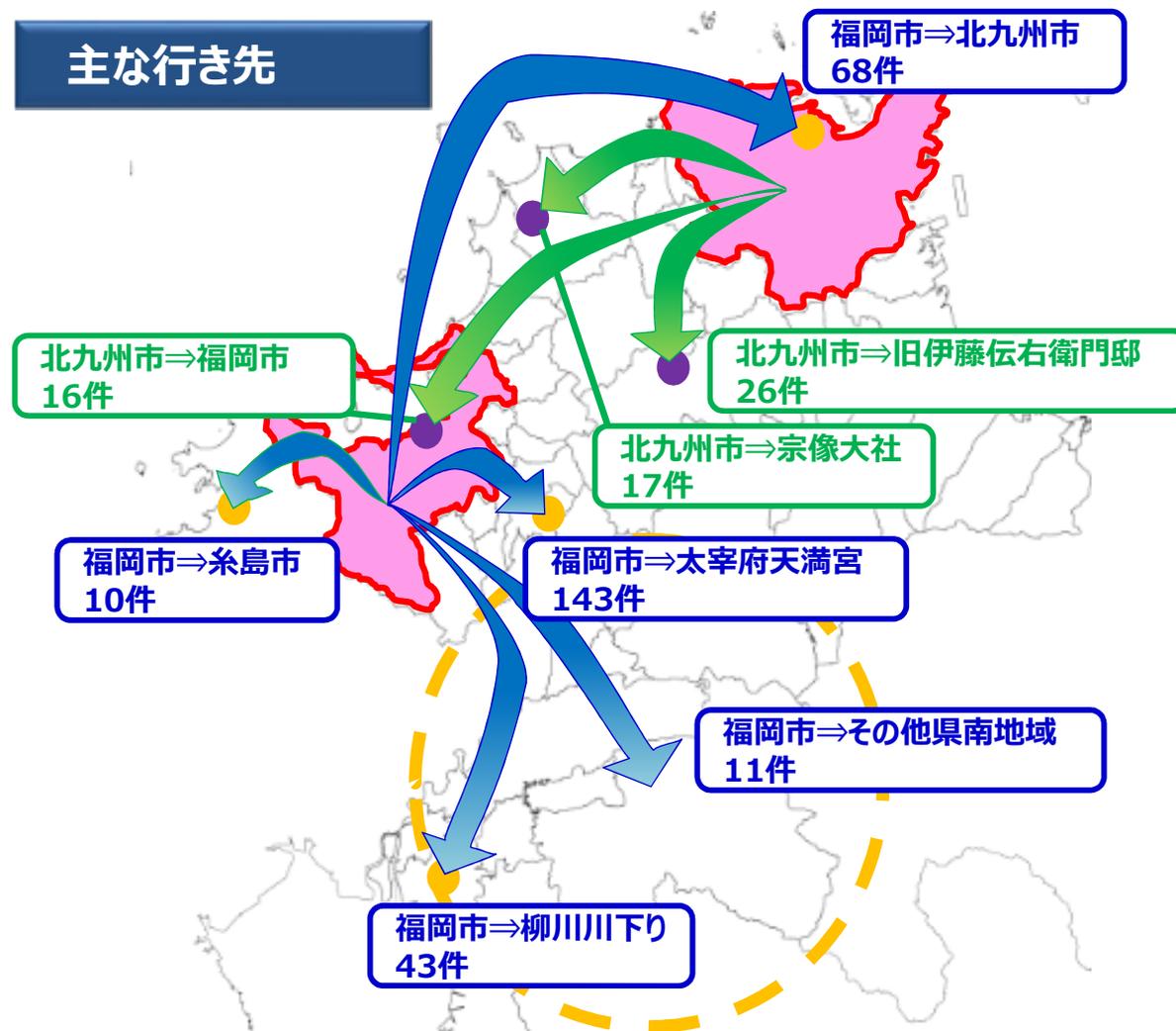
うち宿泊数	937
-------	-----

福岡市宿泊数	うち福岡市以外に周遊した数	割合
445	288	64.7
北九州市宿泊者数	うち北九州市以外に周遊した数	割合
136	63	46.3

※アンケート調査は1家族・1団体を1件としてカウントしているため、件数=人数とはならない。

出典：「福岡県観光入込客推計調査アンケート（H29）」

主な行き先

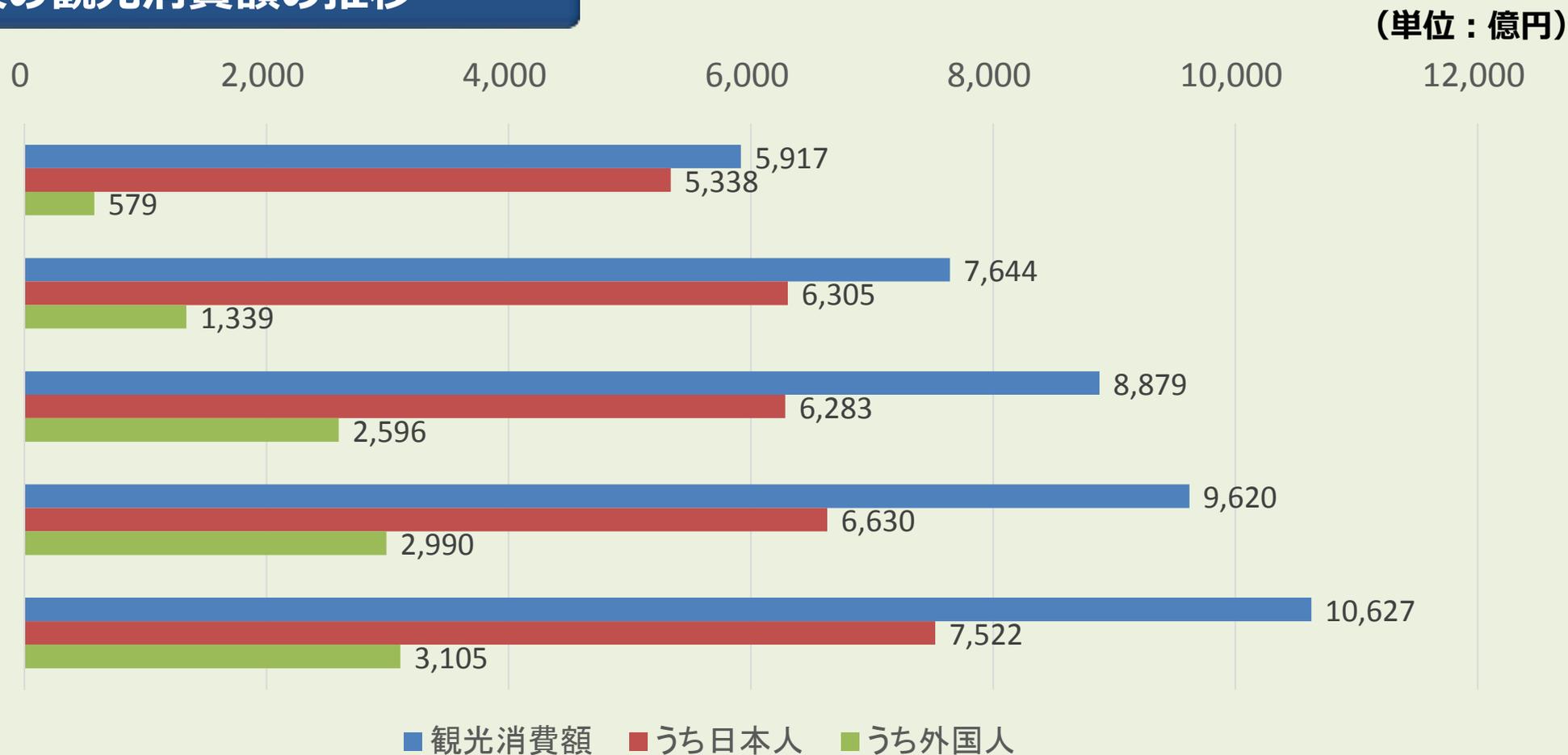


※「主な行き先」について、1団体が複数箇所を周遊する場合は、重複してカウント

2 福岡県観光の現状と課題 (3) 観光消費額の状況①

- 観光消費額は順調に増加しており、平成29年に1兆円を突破。
- 外国人観光客の消費額増加が著しく、25～29年で約5.4倍、2,526億円の増となっている。（全国における外国人観光客の消費額は、25～29年で約3.1倍。）

福岡県の観光消費額の推移



出典：法務省「出入国管理統計」、観光庁「旅行・観光消費動向調査」を基に推計

2 福岡県観光の現状と課題 (3) 観光消費額の状況②

- 本県観光客の1人1回当たり消費額を全国平均と比較すると、国内の宿泊客以外は低い水準に留まっている。
- 中でも訪日外国人の1人1回当たり消費額において、大きな差がある（約57,000円）。これは、本県へのインバウンドが韓国、クルーズ船客に偏り、滞在日数が短いことに起因すると考えられる。

観光客の消費動向（全国）

	旅行消費額	延べ人数	1人1回当たり消費額
訪日外国人	4.4兆円	2,869万人	153,921円
国内客 (宿泊)	16.1兆円	3億2,333万人	49,732円
国内客 (日帰り)	5.0兆円	3億2,418万人	15,526円

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（平成29年）」
「旅行・観光消費動向調査（平成29年）」

観光客の消費動向（福岡県）

	旅行消費額	延べ人数	1人1回当たり消費額
訪日外国人	3,105億円	319万人	97,384円
国内客 (宿泊)	6,127億円	1,000万人	61,298円
国内客 (日帰り)	1,394億円	1,026万人	13,597円

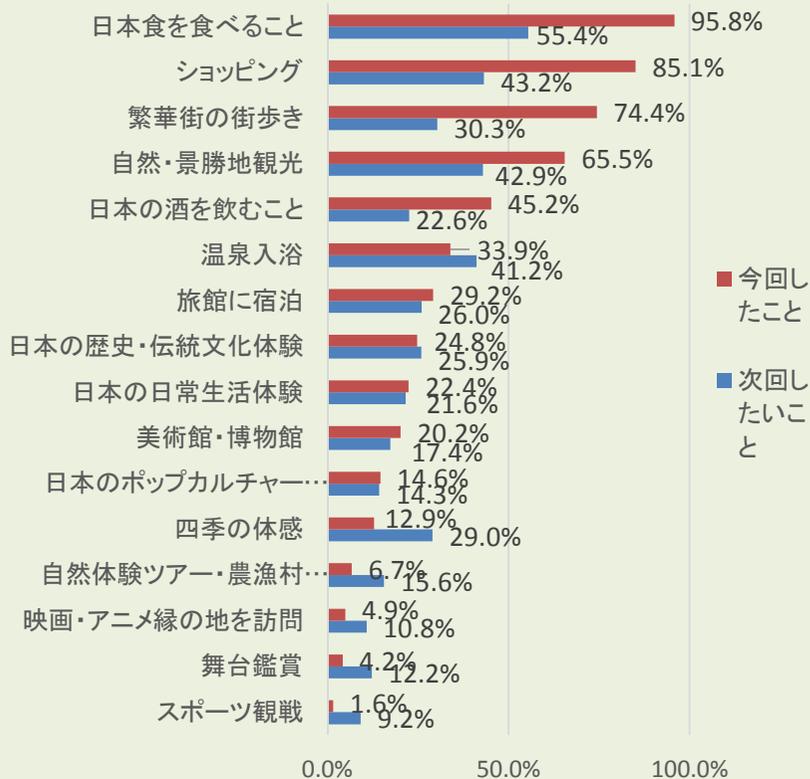
出典：法務省「出入国管理統計（平成29年）」
観光庁「旅行・観光消費動向調査（平成29年）」
（※訪日外国人については国の算出方法に準じて算出。）

2 福岡県観光の現状と課題

(4) 観光客のニーズ ① 訪日外国人が今回したことと次回したいこと

- 観光庁が訪日外国人に対して実施したアンケートによると、訪日外国人が今回の日本滞在中にしたことでは「日本食を食べること」「ショッピング」「繁華街の街歩き」「自然・景勝地観光」の順で選択率が高い。
- 次回したいことでは、「四季の体感」「自然体験ツアー・農漁村体験」「日本の歴史・伝統文化体験」などが、今回したことを選択率よりも高い傾向にある。
- 体験型の観光資源を開発することにより、地方への誘客と滞在を促すことが必要。

今回したことと次回したいこと (全国籍・地域、複数回答)



出典：観光庁「訪日外国人の消費動向調査 平成29年 年次報告書から抜粋」

訪日外国人旅行者の消費動向とニーズについて

〇コト消費は地方への外国人誘客のきっかけとなりうるか

訪日外国人が東京、京都、大阪等の大都市圏を離れて地方を訪れる際、認知度不足・限られた旅行日数・移動の困難性等が制約条件となりうる(中略)。

地方訪問を選択する外国人の多くは、このような制約条件があるにも関わらず、大都市圏とは異なる地方の魅力を求めている。

具体的には、大都市圏にはなく地方にこそある、自然景観の鑑賞、歴史的建造物への訪問、旅館や温泉の体験、地方のテーマパーク訪問、特産物の飲食等の「体験」である。

各市場の旅行者が求める「体験」を理解し、その要求に合致した「体験」ができる環境を整備し、他の地方以上に魅力があるものとして訴求できれば、外国人の誘客に繋がる。その意味でコト消費は地方誘客の大きなきっかけとなりうる。

(出典：JNTO「訪日外国人旅行者の消費動向とニーズについて」から抜粋)

〇(参考)本県が開発した体験・交流型観光資源

- ・久留米餅の手織り工場見学、藍染体験
- ・八女茶の伝統製法である焙炉式焙煎法の実演見学、おいしい入れ方体験
- ・博多人形工房見学、絵付け体験
- ・大川組子ギャラリー見学、組子製作体験

2 福岡県観光の現状と課題

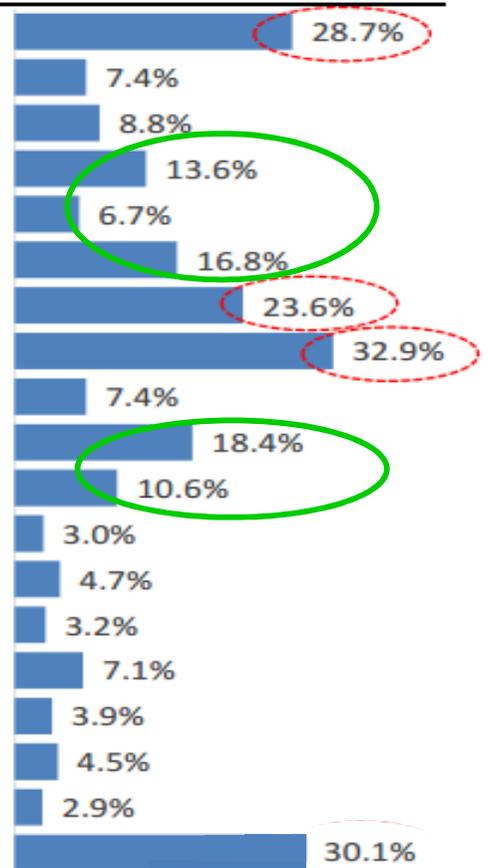
(4) 観光客のニーズ ②訪日外国人旅行者が旅行中に困ったこと

- 観光庁が訪日外国人旅行者に対して実施したアンケートによると、旅行中困ったこととして、「施設等のスタッフとのコミュニケーションがとれない」と回答した割合が32.9%で最も多くなっている。
- 次いで「無料公衆無線LAN環境」が28.7%、「多言語表示の少なさ・わかりにくさ」が23.6%となっている。
- また、キャッシュの関係で、「クレジット/デビットカードの利用」、「ATMの利用」、「両替」を合わせると37.1%となるほか、公共交通関係で、「公共交通の利用」と「鉄道の割引切符」を合わせると29%となり、高い割合となっている。

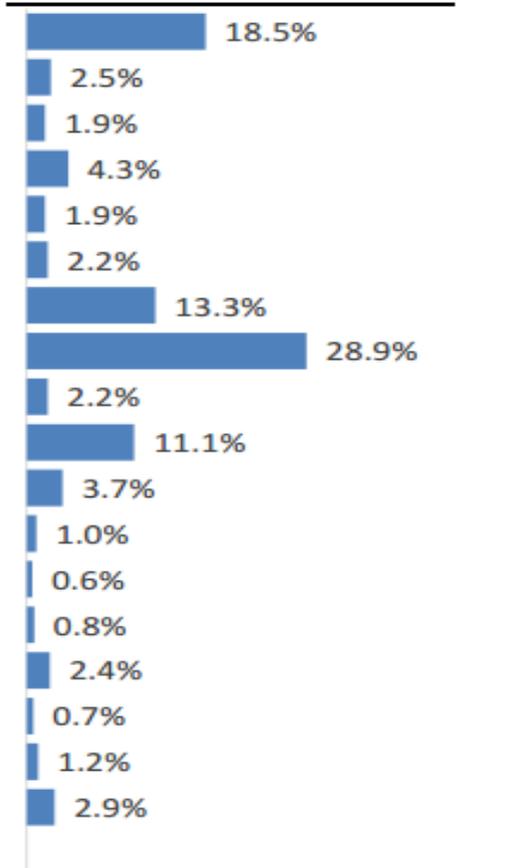
訪日外国人旅行者が旅行中に困ったこと

無料公衆無線LAN環境
SIMカードの購入
モバイルWi-Fiルーターのレンタル
クレジット/デビットカードの利用
ATMの利用
両替
多言語表示の少なさ・わかりにくさ（観光案内板・地図等）
施設等のスタッフとのコミュニケーションがとれない
入国手続き
公共交通の利用
鉄道の割引きっぷ
災害、けが・病気の際の医療機関、海外旅行保険
観光案内所の利用や観光地での案内
宿泊施設や空港などへの荷物の配送サービス
飲食店、宿泊施設の情報の入手・予約
観光地におけるツアー、旅行商品（情報入手、種類等）
トイレの利用・場所・設備
その他
困ったことはなかった

旅行中困ったこと(複数回答)



旅行中最も困ったこと(単回答)



出典：観光庁「訪日外国人旅行者の国内における受入環境整備に関するアンケート」結果」（平成28年度実施）

2 福岡県観光の現状と課題

(4) 観光客のニーズ ③福岡県観光の印象・満足度

- 福岡県が観光客へ実施したアンケートによると、本県観光で満足度の高い項目は、「食べ物・グルメ」、「自然・街並みのよさ」、「特産品・土産物」などであり、観光に食や自然・街並みの魅力を活かすことが期待できる。
- 一方で、「通信状況」、「案内標識・看板」「観光情報の発信・PR活動」の満足度が低い状況で、受入環境充実が課題。

福岡県観光の印象・満足度

(単位：%)

	大変良い	良い	普通	やや悪い	悪い	わからない	無回答	大変良い・良いの割合 (わからない・無回答を除く)	
名所・旧跡	17.2	42.5	23.3	1.5	0.4	14.0	1.1	70.3%	
自然・街並みのよさ	20.6	51.4	22.4	1.0	0.1	3.8	0.7	75.4%	②
食べ物・グルメ	31.1	47.0	15.3	0.5	0.0	5.1	0.7	83.2%	①
特産品・土産物	19.8	44.6	23.9	1.3	0.1	9.3	1.1	71.8%	③
温泉	9.0	18.1	17.5	3.4	1.1	49.5	1.5	55.2%	
公共交通のサービス	10.8	31.9	29.2	3.9	0.9	22.1	1.2	55.7%	
道路整備	10.5	39.8	34.8	5.1	0.9	7.9	1.0	55.2%	
案内標識・看板	8.7	36.4	36.0	5.6	1.1	11.1	1.0	51.4%	②
通信状況	7.0	28.7	31.0	3.9	1.6	26.6	1.2	49.4%	①
観光地・宿泊施設の対応	9.9	32.8	27.7	1.2	0.3	26.6	1.4	59.4%	
地域住民の取組み	7.0	22.9	22.9	1.1	0.3	44.5	1.3	55.2%	
観光情報の発信・PR活動	7.0	30.3	30.9	2.9	0.5	27.3	1.0	52.1%	③

出典：福岡県「平成28年福岡県観光入込客推計調査」

2 福岡県観光の現状と課題

(5) 観光客受入施設等の意見

- 福岡県が、観光客の受け入れを行う施設等の管理者や、自治体に対しヒアリングを行った結果、以下のような意見が寄せられた。
- 外国人観光客の増加に伴い、生活習慣や文化の違いによる摩擦が生じる場面もあり、地域住民の生活への負担を軽減することが必要。

施設等管理者や自治体へのヒアリングの結果

ごみに関すること

- ・ 火が点いたタバコを、そのままゴミ箱に捨てる。
- ・ ゴミをどこにでも捨てる。

トイレの使用に関すること

- ・ トイレの使用方法が適切でなく、清掃頻度が増えたことにより、維持費も増加している。

施設の利用に関すること

- ・ 代金を支払わずにお守りやおみくじを持ち去る。
- ・ 手水鉢に足を入れて洗う。ひしゃくに直接口をつけて水を飲む。
- ・ 神社の本殿などに土足で上がる。

地域住民の生活への影響に関すること

- ・ 団体ツアー客が大声で話すため、周辺住民に迷惑がかからないよう、団体客の受入を中止している。
- ・ 団体ツアー客の大型バスが駐車違反することによる渋滞の発生。
- ・ 免税店の周囲の住宅で勝手に写真撮影を行う。

2 福岡県観光の現状と課題

(6) 更なる観光客増加に向けた県内の動向 ① 空港や港の状況

- 福岡空港では滑走路増設など、発着回数増に向けた整備が進むほか、北九州空港においても、旅客対応能力の拡大に向けたターミナルビル改修が実施されている。
- 博多港では、世界最大級のクルーズ船の受入や大型クルーズ船の2隻同時着岸に向けた岸壁整備が進められており、北九州港では、クルーズ船誘致の取組みが進んでいる。

福岡空港

国際線 9か国・地域、20都市に19路線 748便/週
国内線 28路線 370便/日 (H30.6現在)

急増する航空需要への対応に向けた空港の機能強化

- ・ 滑走路増設事業、平行誘導路二重化の早期完成や国際線スポットの整備促進
- ・ 出入国審査体制の拡充促進（審査官増員、自動化ゲート等の導入）

北九州空港

国際線 2か国、5都市に5路線 54便/週
国内線 東京（羽田）線 32便/日
名古屋（小牧）線 2便/日 (H30.6現在)

国際線の増便に向けた取組み

- ・ 同時間帯に2機対応を可能とするためのターミナルビル改修
- ・ 24時間空港の特徴を活かした早朝・深夜便やLCCの誘致

博多港

定期船 国際 3～6便/日（釜山）、国内 10便/日
外国船社クルーズ船寄港数（H29実績:309、H30予定:295）

拡大するクルーズ需要への対応に向けた整備

- ・ 世界最大級のクルーズ船受入れ等に向けた岸壁整備

陸海空の拠点が近接した福岡市の特徴を活かした博多港
発着クルーズの振興

北九州港

クルーズ船寄港数（H29実績33、H30予定31）

拡大するクルーズ需要への対応に向けた取組み

- ・ ひびきCTを大型クルーズ船誘致港として開放（H28～）
ひびきCT周辺の道路整備
- ・ ひびきCT内の安全対策強化のためのバス道路の整備

2 福岡県観光の現状と課題

(6) 更なる観光客増加に向けた県内の動向 ②客室稼働率の状況

- 本県の客室稼働率は、平成25年から4年連続で上昇。29年の稼働率は大阪府、東京都に次いで全国3位。
- 宿泊施設タイプ別に見ると、ビジネスホテル・シティホテルは高水準だが、旅館は受入の余力が残されている。

主要都道府県別 客室稼働率の推移

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	対前年 比	H25→ H29比
全国	55.2	57.4	60.3	59.7	60.8	1.1%	5.6%
大阪府	76.2	81.0	84.8	83.3	83.1	-0.2%	6.9%
東京都	81.1	78.8	82.6	78.8	80.1	1.3%	-1%
福岡県	62.2	66.7	68.4	70.8	72.7	1.9%	10.5%
(福岡市)	76.6	80.4	83.2	84.3	84.0	-0.3%	7.4%
愛知県	62.1	66.4	71.2	70.2	71.5	1.3%	9.4%
千葉県	65.2	66.8	71.4	67.0	68.2	1.2%	3%
京都府	68.3	67.7	71.3	67.3	67.7	0.4%	-0.6%
神奈川県	62.5	67.2	66.8	67.8	66.4	-1.4%	3.9%
沖縄県	57.0	62.0	66.7	65.0	66.1	1.1%	9.1%
広島県	57.6	63.3	64.6	65.6	65.9	0.3%	8.3%
埼玉県	61.3	64.4	66.7	65.7	65.7	0%	4.4%

宿泊施設タイプ別 客室稼働率の推移 (福岡県)

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	対前年 比	H25→ H29比
旅館	20.7	24.7	30.2	29.3	30.6	1.3%	9.9%
リゾートホテル(※1)	57.9	60.7	66.0	62.8	61.2	-1.6%	3.3%
ビジネスホテル(※2)	70.2	73.3	71.4	76.4	78.8	2.4%	8.6%
シティホテル(※3)	75.9	78.6	81.0	81.3	83.8	2.5%	7.9%
簡易宿所	-	-	31.7	27.9	34.0	6.1%	-
会社・団体の宿泊所	39.4	31.7	26.8	32.7	44.3	11.6%	4.9%

(※1)リゾートホテル:ホテルのうち行楽地や保養地に建てられた、主に観光客を対象とするもの。

(※2)ビジネスホテル:ホテルのうち主に出張ビジネスマンを対象とするもの。

(※3)シティホテル:ホテルのうち、リゾートホテル、ビジネスホテル以外の都市部に立地するもの。

出典:観光庁「宿泊旅行統計調査」

2 福岡県観光の現状と課題

(6) 更なる観光客増加に向けた県内の動向 ③簡易宿所等の状況

- 簡易宿所は特に福岡市において近年大幅に増加。県全体で見ると、H27-29年度でおよそ1.8倍に増加。
- 6月15日に施行された「住宅宿泊事業法（民泊新法）」に基づく住宅宿泊事業者の届出受付件数は、福岡県全体で164件。施行後も届け出件数は伸びている。

簡易宿所件数の推移（地域別）

	福岡県全体	北九州市	福岡市	久留米市	大牟田市	その他
27年度	217	28	47	7	3	132
28年度	258	28	69	6	4	151
29年度 (速報値)	398	27	190	6	4	171

※年度末時点の数

(出典:厚生労働省「衛生行政報告例」)

住宅宿泊事業者の届出状況（地域別）

	福岡県 全体	北九州市	福岡市	久留米市	大牟田市	その他
届出受付件数	164件	4件	140件	1件	0件	19件
届出件数 (受理)	87件	—	74件	—	—	13件

※平成30年6月15日17時現在

2 福岡県観光の現状と課題

(6) 更なる観光客増加に向けた県内の動向 ④民泊の状況

- 住宅宿泊事業法施行前に九州観光推進機構が行った調査によれば、九州を旅行した訪日外国人の延べ宿泊者数全体のうち8.8%（73.9万人泊）が民泊への宿泊と推計されている。法に基づく適正民泊を促し、宿泊の受入を整備することが重要。

「モバイル空間統計」による
九州における延べ宿泊者数
(宿泊施設は不問)

835.9万人泊

観光庁「宿泊旅行統計」による
九州における延べ宿泊者数
(従業員数10人未満施設を含む)

※1

700.0万人泊

<宿泊旅行統計で調査対象外の延べ宿泊者数>

民泊、親族・知人宅などでの宿泊

135.9万人 (全体の**16.3%**)

うち、民泊分のみを推計 ※2

民泊は73.9万人泊 (九州における延べ宿泊者数のうち **約8.8%**)

※1 ホテル、旅館、会社・団体の宿泊所、簡易宿所（民宿・ペンション・ユースホステル・ゲストハウス・カプセルホテル・バンガローなど）を含む。旅館業法の営業許可を得ていない**民泊は含まない**。

※2 観光庁「訪日外国人消費動向調査【トピックス分析】平成29年7-9月期 訪日外国人旅行者の宿泊施設利用動向」（2017年11月15日公表）によると、宿泊旅行統計で現状調査対象外である宿泊施設（①有償での住宅宿泊（≒民泊）、②親族・知人宅、③その他）のうち、「有償での住宅宿泊（≒民泊）」は約54.4%であり、この率を九州でも同等と仮定し適用

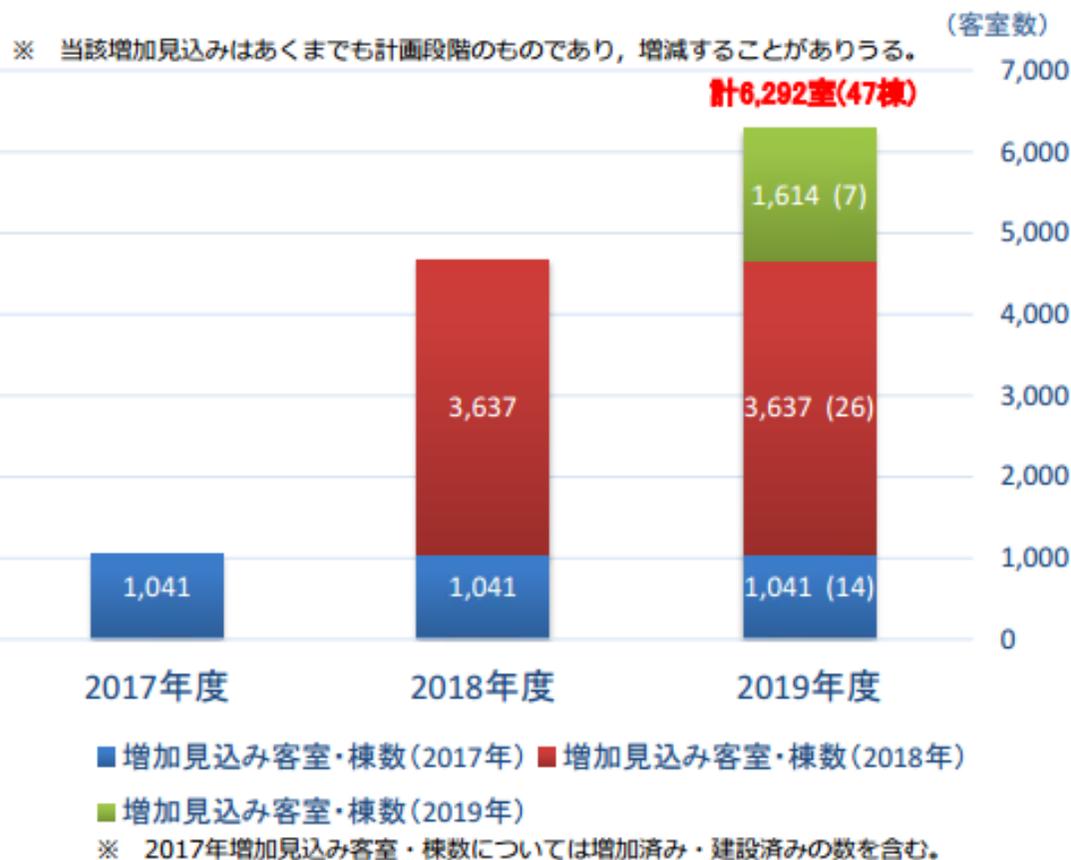
出典：九州観光推進機構「ビッグデータを活用した「九州への訪日外国人旅行者に関する動態調査（平成30年5月公表）」

2 福岡県観光の現状と課題

(6) 更なる観光客増加に向けた県内の動向 ⑤ホテルの増加見込み

- 福岡市においては、ホテルの新設計画が続々と進められており、H29～31年度の間には47棟、6,292室が増加する見通し。

今後のホテル増加見込み（福岡市）



出典：福岡市『福岡市の観光・MICE』2018年版』

新設が発表された主なホテル

ザ・リッツ・カールトン

建設予定地：福岡市天神地区（大名小跡地）
開業予定：2022年12月
客室数：147室

高級ビジネスホテル（九州旅客鉄道（株））

建設予定地：JR博多駅前
開業予定：2019年秋頃
客室数：238室

変なホテル（（株）エイチ・アイ・エス）

建設予定地：中洲川端
開業予定：2018年12月
客室数：100室

出典：報道発表資料等をベースに事務局作成

2 福岡県観光の現状と課題 (7) 国際会議の開催状況

- 福岡市における国際会議開催件数は、東京に次いで第2位の状況が継続。
- 北九州市における国際会議開催件数も年々増加しており、順位も上昇。
- 大型国際会議時には参加者による消費が期待できる。

国際会議の開催件数の推移 (都市別)

		平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
1位	都市名	東京	東京	東京	東京	東京	東京
	件数	470	500	531	543	557	574
2位	都市名	福岡市	福岡市	福岡市	福岡市	福岡市	福岡市
	件数	221	252	253	336	363	383
3位	都市名	横浜市	京都市	横浜市	京都市	仙台市	京都市
	件数	169	196	226	202	221	278
4位	都市名	京都市	横浜市	京都市	横浜市	京都市	神戸市
	件数	137	191	176	200	218	260
5位	都市名	名古屋市	大阪市	大阪市	名古屋市	横浜市	名古屋市
	件数	112	140	172	163	190	203
6位	都市名	神戸市	名古屋市	名古屋市	大阪市	名古屋市	横浜市
	件数	83	126	143	130	178	189
7位	都市名	札幌市	千里地区	千里地区	千里地区	大阪市	大阪市
	件数	73	113	113	104	139	180
8位	都市名	大阪市	神戸市	神戸市	札幌市	神戸市	仙台市
	件数	72	92	93	101	113	115
9位	都市名	千里地区	仙台市	札幌市	神戸市	札幌市	札幌市
	件数	54	81	89	82	107	115
10位	都市名	つくば地区	札幌市	仙台市	仙台市	千里地区	北九州市
	件数	46	61	77	80	94	105
11位	都市名	仙台市	つくば地区	北九州市	北九州市	北九州市	千里地区
	件数	40	53	57	73	86	85
12位	都市名	北九州市	北九州市	つくば地区	つくば地区	広島市	広島市
	件数	38	45	51	66	59	76

JNTO国際会議統計の選定基準

以下の①～④を全て満たす国際会議を、「国際会議」とする。

①主催者:「国際機関・国際団体(各国支部を含む)」又は「国家機関・国内団体」

※「特定企業の利益を追求することを目的とした会議」の主催者を除く

②参加者総数:50名以上 ③参加国:日本を含む3カ国以上 ④開催期間:1日以上

出典(日本政府観光局(JNTO)「国際会議統計」)

3 福岡県の現在の取組みと財政状況 (1) 観光指針に基づく現状の取組み①

観光資源の魅力向上

H30年度予算額：1,084,614千円

施策の方向性	主な事業	主な事業の 予算額	うち観光局
歴史を活かした観光資源の発掘、磨き上げ	世界遺産の保存、情報発信、来訪促進	69,753千円	
	美しいまちづくり支援活動、景観大会開催	11,215千円	
	天神中央公園・貴賓館等(福岡市)の整備	227,379千円	
	国指定文化財門司港駅(北九州市)の復元	21,624千円	
	大濠公園能楽堂(福岡市)の整備	60,639千円	
食の魅力を活かした観光の推進	福岡の食や酒をテーマにした旅行会社の招請や商談会開催	4,948千円	
文化・スポーツの集積を活かした観光の推進	芸術文化活動プログラムの実施	21,786千円	
	九州の博物館を周遊できるミュージアムパスの運用拡大	1,324千円	
	伝統工芸産業、県産品等ブランド力強化	75,235千円	75,235千円
	伝統的工芸品月間国民会議全国大会の開催	58,058千円	58,058千円
体験・交流・滞在型観光の推進	地域の観光資源を活用した体験プログラム等の整備	38,567千円	2,030千円
	関門海峡ミュージアムの展示更新	323,350千円	
	九州自然歩道の標識等の再整備、案内板等の多言語標記	106,094千円	
	体験・交流・滞在型観光資源(トレイル・サイクリング)の開発	14,841千円	14,841千円
	平成筑豊鉄道推進協議会による移動型レストラン及びマルシェの整備支援	48,076千円	
その他		1,725千円	55千円
小計		1,084,614千円	150,219千円

受入環境の充実

H30年度予算額：155,830千円

施策の方向性	主な事業	主な事業の 予算額	うち観光局
観光案内の充実	観光ガイド人材等の育成	2,707千円	130千円
多言語対応の充実	観光案内所、宿泊施設等に対する多言語コールセンター設置	14,000千円	14,000千円
	観光案内所等のWi-Fi整備、多言語対応への支援	5,725千円	5,138千円
	多言語パンフレット作成、配布	6,846千円	
	インバウンドセミナーの開催、インバウンド協力店の情報発信	5,600千円	3,998千円
	商店街のアーケード施設等の整備、イベント開催、多言語化支援	14,796千円	
移動しやすい交通基盤の整備	北九州空港アクセス向上支援(リムジンバス)	49,961千円	
観光客の安全・安心対策	災害時における情報提供	5,622千円	
	医療通訳派遣、医療に関する多言語コールセンター設置	14,284千円	
	交番等への多言語翻訳機能付きタブレット端末の整備	805千円	
	県警HPの多言語専用ページ作成(落し物、交通ルール、災害等)	17,545千円	
	テロ対策未然防止事業	16,399千円	
その他		1,540千円	
小計		155,830千円	23,266千円

3 福岡県の現在の取組みと財政状況 (1) 観光指針に基づく現状の取組み②

効果的な情報発信

H30年度予算額：519,235千円

施策の方向性	主な事業	主な事業の 予算額	うち観光局
国や地域毎の旅行者のニーズをとらえたプロモーション活動	県内各市町村のイベント、観光スポット、観光ルートなどの情報発信	17,418千円	6,445千円
	多言語情報サイト「アジアナビ」を活用した観光等情報発信	29,748千円	
	観光素材説明会、商談会、国内旅行博への参加	5,029千円	1,953千円
	ファッションイベントを活用した福岡の魅力発信	45,000千円	45,000千円
	食の魅力を活用した誘客促進	21,230千円	
	海外メディア・旅行関係者の招請	5,894千円	5,894千円
	福岡県観光パスポート「よかとこパスポート」による周遊促進	16,268千円	16,268千円
	よかもん広場(県庁展望室)での情報発信	24,306千円	24,306千円
海外進出企業、飲食店等との連携によるプロモーション活動	県内総領事や友好提携都市等を通じた情報発信	34,826千円	1,412千円
	「とんこつキャンペーン」など海外進出企業を活用した情報発信	14,141千円	14,141千円
ゴールデンルートからの誘客拡大	直行便がない国・地域と取引があるランド社等の招請	6,649千円	6,649千円
	東京アンテナレストラン設置による情報発信	138,819千円	
広域連携による誘客拡大	福岡空港、北九州空港を活用したインバウンド誘客	74,892千円	9,600千円
	RWCに向けたセミナー、レセプション、プロモーションの実施	37,134千円	15,800千円
	交通事業者や旅行会社等と連携した旅行商品の造成	47,881千円	47,881千円
その他			
	小計	519,235千円	195,349千円

観光振興の体制強化

H30年度予算額：275,982千円

主な事業	主な事業の 予算額	うち観光局
観光統計等の分析及び情報提供	10,092千円	10,092千円
福岡県観光連盟の事業への支援	128,390千円	128,390千円
九州観光推進機構の事業への支援	74,852千円	74,852千円
その他観光関係団体の事業への支援	42,457千円	42,457千円
日本版DMO候補法人認定に向けた支援	10,269千円	10,269千円
その他	9,922千円	9,384千円
小計	275,982千円	275,444千円

H30年度事業費総額

約20億3,566万円
(うち観光局予算 約6億4,428万円)

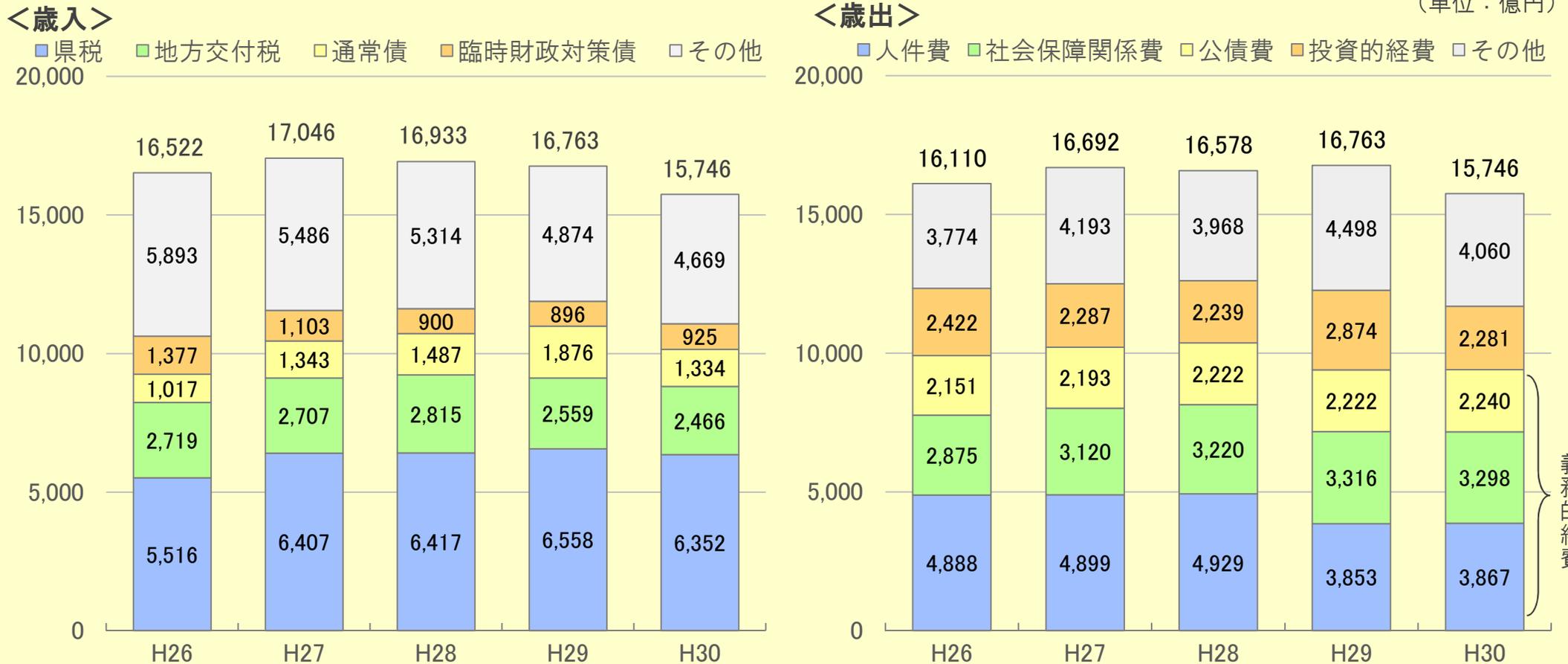
観光局予算の推移

年度	決算(予算)額	うち主な臨時的支出
H28年度(決算)	約14億6,400万円	九州ふっこう割(約8億8,300万円)
H29年度(決算)	約6億9,800万円	ふくおか応援割(約1億100万円)
H30年度(予算)	約6億4,400万円	-

3 福岡県の現在の取組みと財政状況 (2)本県の財政状況 ①

- 本県は、平成9年度から5次にわたり財政改革に関する計画を策定し、職員定員の削減等による人件費の抑制、事務事業の見直し、社会保障費の増加の抑制、未利用県有地の売却等による財政収入の確保など、財政健全化に積極的に取り組んできた。
- 近年の財政状況をみると、歳入面においては、地方消費税率の引上げなどによる県税収入の増、歳出面においては、高齢化の進展などによる社会保障関係費の増嵩、県債残高の累増による公債費の増大が続いている。

歳入・歳出規模（普通会計）の推移

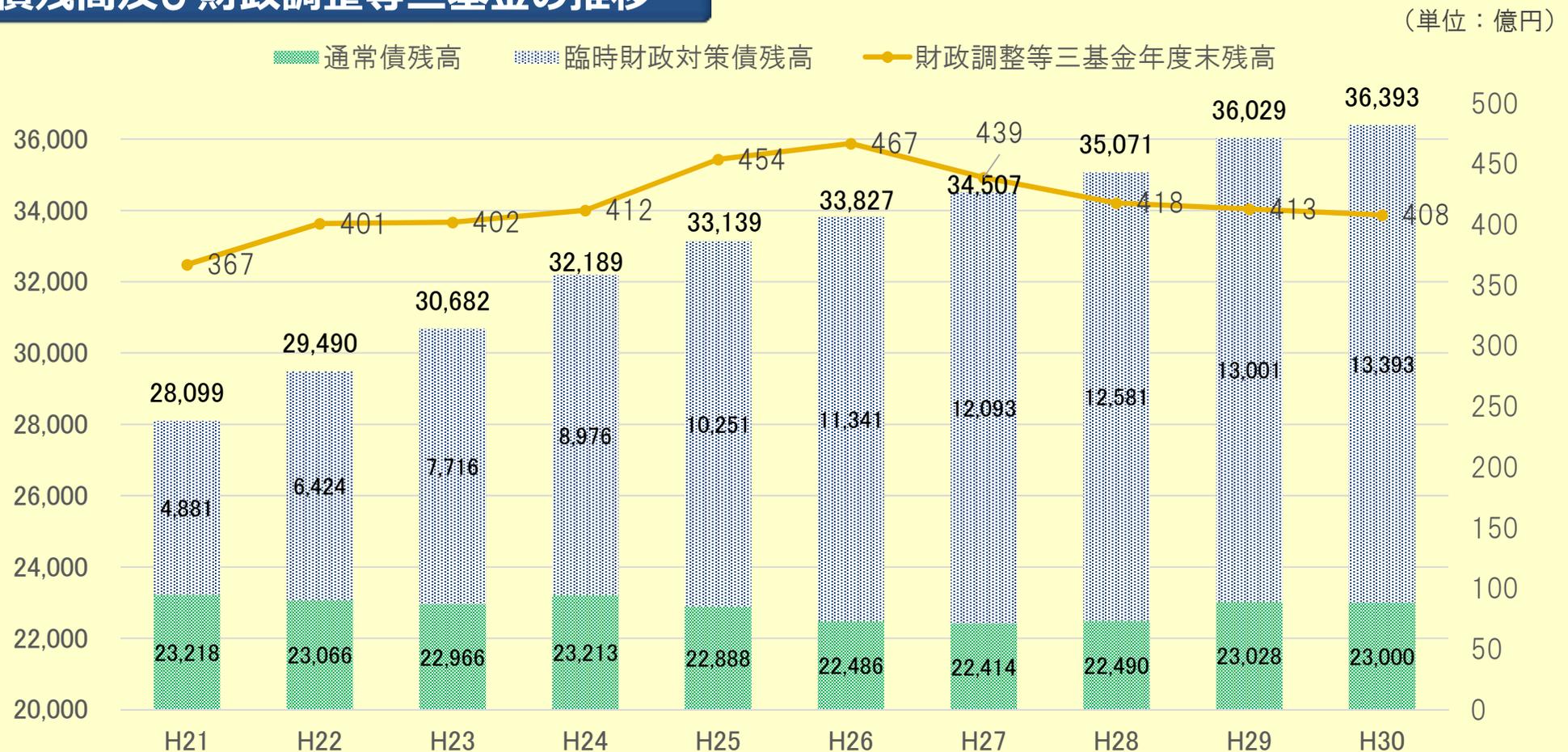


3 福岡県の現在の取組みと財政状況 (2)本県の財政状況 ②

➤ 臨時財政対策債（※）を含む県債残高は、平成30年度末には、一般会計予算規模のほぼ2倍となる3兆6千億円を超える見込みであり、本県財政は依然として厳しい状況にある。

※ 地方財政の財源不足のために発行する地方債で、この起債に係る元利償還金相当額は、その全額が後年度地方交付税措置される

県債残高及び財政調整等三基金の推移



※ H28までは決算額、H29は最終予算額、H30はH29最終予算額反映後

3 福岡県の現在の取組みと財政状況 (2)本県の財政状況 ③

- 今後も厳しい財政運営を強いられると見込まれる中、平成29年2月、持続可能で安定した財政運営の実現を目指し、歳入・歳出全般にわたる改革の方針や取組を具体的に定めた「財政改革プラン2017」を新たに策定。
- 以下の改革の方針に基づき、各年度の予算編成を通じて改革措置を実行し、財政健全化を着実に推進。
 - ① 計画期間中に基礎的財政収支（プライマリーバランス）を黒字化
 - ② 必要な社会資本整備を着実に進める一方、通常債の発行額及び残高を毎年度確実に減少させ、平成33年度末の通常債残高を平成28年度末に比べ780億円程度圧縮
 - ③ 計画期間中、予期しない税収減や災害発生による支出増などへの対応に必要な財政調整基金等三基金の残高を確保

福岡県財政改革プラン2017

改革の計画期間

平成29年度から平成33年度まで

改革措置の内容

- (1) 人件費の抑制… 定員削減や給与制度の総合的見直しを推進
- (2) 事務事業の見直し… 必要性や効果の低い事業を廃止・効率化・重点化するなど見直しを図る
- (3) 社会保障費の増加の抑制… 後発医薬品の使用促進等による医療費適正化等を図る
- (4) 建設事業の重点化… 社会資本整備を着実に進める一方で、県単独公共事業を2%程度抑制
- (5) 財政収入の確保… 県税の確保対策の強化、未利用県有地の計画的売却等

平成30年度当初予算における改革措置状況

平成30年度当初予算における財政改革プランの目標達成状況

(単位：億円)

	目標	30年度当初予算
人件費の抑制	6	8
事務事業の見直し	55	55
社会保障費の増加の抑制	9	9
建設事業の重点化	2	2
財政収入の確保	18	18
改革効果額計	91	92

※ 表示単位未満四捨五入の関係で、積上げと合計が一致しない箇所がある

	財政改革プラン		30年度当初予算
	目標	30年度見込	
プライマリーバランス	○29年度から33年度までの計画期間中に黒字化	5億円の赤字	豪雨災害復旧・復興対策により、58億円の赤字
通常債残高	○33年度末通常債残高を28年度末に比べ、780億円程度圧縮	28年度末に比べ229億円の減	豪雨災害復旧・復興対策、国の補正予算対応により、28年度末に比べ、373億円の増（豪雨災害分と国補正分を除くと、289億円の減）
	○通常債の発行額及び残高を毎年度確実に減少させる	前年度に比べ発行額及び残高の減少	発行額は82億円の増、残高は28億円の減（豪雨災害分を除くと、それぞれ25億円の減と135億円の減）
財政調整等三基金	○予期しない税収減や災害発生による支出増などへの対応に必要な残高を確保する	369億円	空港ビル株式売却収入65億円を含め386億円

4 福岡県観光の現状と課題 まとめ①

- ① 本県への観光客は増加しており、特に、韓国をはじめとした東アジアからのインバウンドの伸びが著しい。一方、欧米豪、中国（クルーズ船客除く）からの割合が低い。
- ② 観光客の増加に伴い、観光消費額も拡大。一方で、訪日外国人一人当たりの観光消費額は、全国平均と比べ低い水準。一層の周遊、滞在を促すことが重要。
- ③ 外国人観光客の地方への周遊、滞在を促し、観光消費額を上げていくためには、「四季の体感」「自然体験ツアー・農漁村体験」等、体験型・交流型の観光が求められる。
- ④ インバウンド需要の高まりも受け、空港や港湾ではインフラ整備が加速。また、ホテル建設など、民間投資も活発化。
- ⑤ 一方で、多言語対応、案内標識、通信環境、キャッシュレスなどの受入環境の充実や観光客を受け入れる側の生活環境の維持に課題が発生。

4 福岡県観光の現状と課題 まとめ②

- ⑥ 観光客と地元住民双方にとって快適で負担感のない受入環境充実や観光資源の磨き上げなど、新たな取組みを推進し、本県の観光振興をさらに進めるため、新たな財政需要が発生している。
- ⑦ 一方で、本県の財政状況を見ると、今後も社会保障費等の増大が見込まれており、観光分野の新たな取組みに必要な経費について、既存の財源から安定的かつ継続的に確保していくことは困難。
- ⑧ こうしたことから、新たな観光振興施策を実施するための財源確保策について、検討が必要。